

1. ねらい

2年生は学級の再編成により新たなるスタートを迎え、期待と不安に満ちあふれている。また、一方では新入生を迎え、中堅学年としてあるいは先輩としての自覚が高まりつつある時期である。そこで、オリエンテーション期間中には、次のことをねらいとして指導していきたい。

- (1) **2年生に進級した喜びをもたせ、中堅学年としての自覚をもたせる。**(最上級生の言動を支え、〇〇中の伝統やその素晴らしさを1年生に示すことができるようにさせる。)
- (2) **1年生時代の反省を踏まえながらも、そのことにこだわることなく、新しい生活の中で自分の限らない可能性を発揮することに全力を尽くさせる。**(一人一人に望ましい自己実現をさせ、集団に自然に適応させるきっかけを整える。)
- (3) **学級目標の決定・学級組織や班の編成を通して、生徒同士、教師と生徒の相互理解を深めながら、好ましい人間関係を形成していく基盤を作らせる。**(自分の持てる力を望ましい学級や学年を築くために役立てようとする意欲をもたせ、教師団が適切な評価をしながら、みんなで学級・学年集団を高めようとする雰囲気大切にさせる。)
- (4) **中学生として身に付けなければならない学校生活での基本的な生活習慣やルールを確認した上で、実践をとおしながら、新入生の手本となるような生活をさせる。**(1年生の学年末に話し合った、〇〇中生としての、また先輩として心構えを確認させ、言動で示させる。)
- (5) **生徒相互、教師と生徒の人間関係を親密にし、信頼関係を大切にしながら安定した学級・学年の生活を送れるようにさせる。**(生徒同士や生徒と教師との接触の機会を工夫し、相互理解を深め、ともに新しい気持ちで互いの夢や理想、価値あるものを追求し、実現していく関係を築かせる。)
- (6) **父母との連携を密にし、学校・学年・学級・P T A・担任団が一体となって生徒を育てていく下地を作る。**

2. 指導上の留意事項と具体的指導場面

- (1) **2年生の生活は新しい自分を作るチャンス、自分を変える再スタートであることを短活や学活、学年集会で強調する。担任団も過去を問わず、これからの生活を見ながら生徒を理解していくことを確認する。**
 - * 学級開き、短活、始業式、学年集会など
- (2) **上級生の言動・姿を手本に、中堅学年としての立場を自覚し、〇〇中学校の伝統や校風、「〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇」の学校目標を新入生に感じ取らせることができるような行動を常に心がけさせる。**
 - * 入学式の準備活動(清掃)、入学式での合唱や態度、対面式での生徒会活動の紹介・合唱・応援歌、学級掲示、朝夕の挨拶など
- (3) **生徒相互、生徒と教師の人間関係を親密にするための機会を工夫する。**
 - * 「生活の記録」を通してのコミュニケーション、1分間面接、2年生になったの抱負・決意作文、学級組織作りなど
- (4) **基本的な生活習慣の徹底を図り、新入生の模範となるように指導する。**
 - * 記名(学習道具全般)、時刻厳守、服装(名札、記章)、提出物、忘れ物撲滅、挨拶(日常の挨拶、職員室への出入り、授業の挨拶、時と場に応じた言動)など
- (5) **健康で安全な中学校生活を送るための注意事項を再確認させる。**
 - * 自転車通学のルール、自転車の保守点検、健康診断による健康状態の自己把握、毎日の健康観察、食事のマナー、歯みがきの励行、休憩時の過ごし方、体力作りなど
- (6) **学習面での不安を取り除くとともに、計画的・継続的な学習習慣を身に付けさせる。**
 - * 「生活の記録」をとおしての家庭学習指導、春休みの家庭学習時間調査とその適切な評価、教科オリエンテーションにおける2年生の学習の進め方など
- (7) **家庭との連携を上手に行う。**
 - * 学年通信の効果的な活用、P T A授業参観、学年P T Aにおける学年経営方針の概要説明と懇談など

● 第2学年の年度初めのオリエンテーション期間における「ガイダンスの機能を生かした学級活動」と他の教育活動との関連を図った指導展開の具体案

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目
短話	名簿で学級を確認	「こんな学級がいい」 集計結果配付					正式の係が進行と連絡をする
1	紹介式 担任発表 始業式	学級活動1 2年生になって 新しい環境や友人関係 に早く慣れさせる	学級活動3 学級組織作り1	教科①	教科⑥	教科⑫	道徳
2	学級開き ・担任方針 ・「こんな学級 がいい」記入	2・3年集会 対面式練習	学級活動4 学級組織作り2	教科②	教科⑦	教科⑬	教科⑯
3	入学式準備 生徒会オリ エンテーシ ョンの工夫 と生徒会誌 の活用	対面式 ・中学校生活 のしおり ・生徒会誌 ・生徒手帳	交通安全教室	教科③	教科⑧	教科⑭	学級活動5 選択教科で自分 を伸ばそう
4	入学式練習			教科④	教科⑨	教科⑮	教科⑰
昼	仮の班ごとに楽しく昼食をとろう						正式の班で昼食の準備をしよう
休	新しい友達と積極的に話をしよう						新しい学級の友達との交流を深めよう
5	入 学 式	学級活動2 学級目標を決 めよう	身体測定	教科⑤	教科⑩	総合的な学習の時間 オリエンテーション	教科⑱
6		具体的で評 価可能なも のを考える			教科⑪		
清掃	仮の班で清掃に取り組む						正式の班で清掃活動に取り組む
短話	担任が諸連絡	1年生に 短話紹介	仮の係が担当				正式の係が進行と連絡を行う
連絡事項等	・生徒手帳 ・対面式準備	自分がやりた い役職を考え ておく	放課後に学年 生徒会の組織 を確立	学年行事があ る場合は、活 動を開始		・中央委員会 ・学年生徒会	こうした指導展開の案を、始業式 の日に生徒に提示して、活動の見通 しをもたせておきたいものです。

「注1」 図中の矢印は、各活動のつながり・発展の方向を示す。 「注2」 学級活動の白抜き数字は、「発表資料」【表5】に対応する。

「注3」 2年生での学級編成替えがある場合の例。

2- (3) 第3年のガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案

(※ 20、21頁見開きで)

月	主 な 行 事	第 3 学 年			題材グループ名	■：指導のねらい ◎：指導の方法 ▲：指導の留意点	
		題 材 名	活 動 内 容	註 記			
4	・始業式 ・入学式 ・生徒会オリエンテーション ・3年修学旅行 ・応援歌練習 ・体育祭	1 3年生になって	ア、ク	◎	最上級生としての生活	■これまでの中学校生活を反省させ、最上級生としての自覚のもと、新たな希望と自信をもって中学校生活の最後の1年を有意義に過ごす心構えをもたせる。 ◎オリエンテーション計画による指導。 ▲何事にもリーダーとして積極的に全力で取り組ませる。 ▲最上級生としての揺るぎない自信と誇りをもって着実な日常生活を送るようにさせる。 ▲1年間の学習の重点目標と努力点を明確にもたせる。	
		2 学級目標を決めよう	イ、ク	○			
		3 修学旅行の準備		○			
		4 学級組織作り	イ、ク	○			
		5 自分で選ぶ選択教科	ク、ソ	◎			自分で選ぶ選択教科
		6 体育祭に向けて	ア、ウ	◎			
		7		○			
5	・生徒総会 ・中間テスト	8 3年生の学習		○	実りある生活と学習	■1、2年生での選択教科の選択の経験を生かして将来をも見据えた広い視野での選択をさせ、意欲的に取り組もうとする態度を養う。 ◎先輩の選択教科の学習の感想を基に討論、個別相談。 ▲どの教科が自分にとってよいのかを考えさせ、学習への動機付けをしっかりとさせる。	
		9		○			
		10 何のために学ぶのか	ス	◎			
6	・地区中総体 ・期末テスト	11 学級の充実と改善	ア	◎	進路を考える	■学ぶことの意味を視野を広げて考えさせ、学び続けていく姿勢を醸成させる。 ■定期的に停滞気味になりがちな学級活動を反省させ、よりよい学級を作って行こうとする心構えをもたせる。 ◎学ぶことのアンケート、班活動のブレインストーミング。 ▲自分の生き方を豊かにするための学習という考えを再確認させる。 ▲3年生スタート時の学級や個人の目標を基に、今を振り返らせる。	
		12 先輩の姿に学ぶ	タ、ツ	◎			
7	・県中総体 ・期末面談 ・終業式	14 一学期の反省		○	心豊かに①	■先輩の進路選択や決定の事例をとおして、将来の生き方や希望する職業に基づいた進路学習の大切さを再認識させる。 ◎先輩と語る会。 ▲進路選択の6つの段階をまとめ、自分に当てはめさせる。 ▲自分の将来の生き方や希望職業の上立った進路選択を考えさせる。	
		15 生き方について考える	タ、ツ	◎			
		16 夏休みの生活設計		○			
8	・始業式 ・地区陸上大会	17 夏休みの収穫		○	進路の選択にそなえて	■進路選択の主体である「自分」に対する理解を一層深めさせる。 ■進路先の調査を行わせ、進路選択に生かすようにさせる。 ◎「自分についてのまとめ」、事業所調べ。 ▲1、2年生での学習を生かし、総合的に自分をとらえさせ、進路の実現への基盤とさせる。 ▲進路先の事業所等の内容や特色を調べ、進路決定や修正の手がかりとさせる。	
		18 二期の計画	ア	◎			
9	・地区新人戦 ・中間テスト	19 自分を見つめ直す	タ	◎	心豊かに②	■行事などの取り組みを想定して、学級内の問題解決を図ったり絆を深めたりして活気ある生活を築こう、話し合わせる。 ◎一学期末の反省を基に、グループや全体で話し合う。 ▲行事を中心に、二期の見通しをもたせる。	
		20 21進路先の調査	タ	◎			
10	・生徒会立会演説会 ・県新人戦 ・文化祭	22 学習の課題や悩みの解決	エ、セ	◎	心豊かに③	■学習上の不安や悩みから逃げずに、前向きに解決する努力をさせる。 ◎ピア・カウンセリング、教育相談。 ▲一人で悩んで投げやりにならないようにさせる。	
		23 文化祭の取り組み	ア、ウ	◎			
		24		○			
11	・県新人戦 ・(総合[発表会]) ・期末テスト	25		○	進路の選択	■進路計画の検討と進路相談をとおして、自分の進路先を最終決定するための方向付けを図らせる。 ◎進路希望チェックリスト。面接の受け方や願書の書き方。 ▲自分がなすべきことと必要な準備を把握させ、不安や緊張を和らげる。	
		26 進路を最終決定する	ツ	◎			
12	・学期反省 ・期末面談 ・終業式	27 自分の道を切り開く	ツ	◎	心豊かに③	■卒業までを見通して、これまでの歩みを振り返らせ、まとめさせる。 ◎グループや学級全体での話し合い。 ▲自分たちの歩みを振り返るだけでなく、後輩に残し伝えるものは何かを考えさせる。	
		28 進路の手続き	ツ	◎			
		29 二期の反省		○			
1	・始業式	30 冬休みの生活設計		○	卒業期を迎えて	■新しい生活で予想される悩みについて、どう解決していけばよいかを考えさせ、新しい生活に積極的にいかかわっていく勇氣と心構えをもたせる。 ◎先輩等のメッセージやアンケートを基にした話し合い。 ▲新生活への気持ちのアンケートを実施し、資料化する。 ▲10年後を想定した「未来の自分からの手紙」を書かせる。	
		31 冬休みの反省と新年の決意	ア	◎			
2	・期末テスト ・生徒総会	32		○	卒業期を迎えて	■卒業までを見通して、これまでの歩みを振り返らせ、まとめさせる。 ◎グループや学級全体での話し合い。 ▲自分たちの歩みを振り返るだけでなく、後輩に残し伝えるものは何かを考えさせる。	
		33 34 勇気を出して自分の道を	エ、ツ	◎			
3	・公立高校入試 ・修了式 ・卒業式	35 希望にあふれて	エ、ツ	◎	卒業期を迎えて	■新しい生活で予想される悩みについて、どう解決していけばよいかを考えさせ、新しい生活に積極的にいかかわっていく勇氣と心構えをもたせる。 ◎先輩等のメッセージやアンケートを基にした話し合い。 ▲新生活への気持ちのアンケートを実施し、資料化する。 ▲10年後を想定した「未来の自分からの手紙」を書かせる。	
		36 中学校生活のまとめ		○			
		37 上級学校への心構え		○			
		38		○			

【注1】 ◎印は、適応や選択にかかわりの深い題材、○印は、適応や選択にかかわりのある題材。

【注2】 題材名の右隣の「活動内容」の記号ア〜ツは、5頁【表3】の活動内容例に示したア〜ツに同じ。

適 応 に か か わ る 能 力			選 択 に か か わ る 能 力		
人間関係能力	感情統制能力	思考能力	問題解決能力	意志決定能力	情報選択能力
1 級友とのコミュニケーションを広める。	1 2年生までで、不本意だった部分について克服していく。	1 最上級生としての希望や抱負をもつ。 2 こんな学級にしたいという願いや考えをもつ。 8 これまでの学習方法等を振り返り、今後伸ばしたい点や改善点を明らかにし、その方策を決める。	2、4 中学生活の最後の年を充実させるために、これまでの経験やみんなの願いを基に、自主的に学級目標/学級組織を決める。	1 最上級生としての自覚や役割を理解し、良きリーダーとして活動する決意をもつ。 4 最上級生として集団生活を積極的にリードし責任を果たす決意をもつ。 8 3年生での学習を中学校での学習の総仕上げとしてとらえ、計画的に取り組む。	
	10 学ぶことを、自分の生き方から見つめ直し、逃避や怠惰の心に立ち向かう。	5 1、2年生時の選択教科の選択理由を振り返り、学習の満足度を考えた上で、どのような選択が自分にとってよいのかを決める。 10 学ぶことの意味を考える。 11 学級での活動を再点検し、問題点をあげて、その解決策を考え、よりよい学級を作っていく。		5 自らの意志で選択した教科に意欲的に取り組む決意をもつ。 10 一生学び続ける意志をもつ。	5 選択教科のねらいや教科の種類、授業時数等から選択の可能性をとらえる。
		12、13 自信と希望をもって進路を切り開いて行くための心構えと準備について考える。 15 希望職業と希望理由を考え、その職業について検討する。	15 自分の希望する職業に就くための進路計画等の検討・改善を図る。	12、13 自分の問題として進路の問題に取り組む。 15 職業生活をととして自己実現を目指すよう決意する。	12、13 先輩のメッセージから、自分の進路選択に必要な条件等をひろいだす。 15 働くことの意味を再認識する。
	17 夏休みの生活や学習が不本意に終わっても、その気持ちを引きずらないように心掛ける。 18 学級全体で話し合って決まった事柄を優先し、自我をコントロールする。	17 夏休みの目標や計画に沿って夏休みを振り返り、成果と課題を明確にする。 18 2学期の大きな流れを理解し、どの時期にどんなことを頑張るかを考える。	18 話し合いをととして問題を解決する。	18 話し合いで決まったことに対し、自分が心掛けることを明確にする。	
		19 自己理解の学習を振り返り、自己の成長や変化に気付く。	19 自己の能力や適性、興味・関心を見つめ直しそれを進路選択に生かす。 20、21 進路希望調査に積極的に取り組み、結果を発表し合っ自分の進路選択に生かす。	19 自己理解を深める力を培う。 20、21 自分の希望する進路先の調査の大切さを理解する。	
22 自ら進んで心を打ち明け、相談する。	22 学習上の不安や悩みは誰にでもあり、それから逃げない気持ちをもつ。		22 グループ討議や相談によって解決を図る。		
		26 自分の進路希望や進路計画を吟味・再検討して、最終的な進路決定への方策を考える。 27 今の自分がなすべきことを考える。 28 進学や就職に必要な準備を考え、自らの力で準備を進める。	27 先輩の事例をヒントに、不安や悩みをどのように解決したらよいか考える。 28 好ましい面接の受け方について考える。	26 自分の責任で進路を選択していく。	26 相談活動をととして進路の最終決定への情報をつかむ。 27 先輩の事例を自分の選択に生かす。 28 入学願書や就職相談票の記入の仕方を理解する。
31 残りの3カ月を共に頑張ろうという気持ちをもつ。 31 後輩へ託すことを、心を込めて伝える。		31 これまでの中学校生活(自分達の足跡)を振り返り、どんな形で自分達の思いや感謝の気持ちを伝えるか考える。		31 感謝の気持ちをもって学校生活をおくろうと決意する。	
		33、34 先輩のメッセージから、自分の生活に生かせる点を考えて、不安や悩みの解決を図ったり、夢の実現への意欲を高めたりさせる。 35 未来に希望をもって進むための心構えを考える。	35 希望に溢れた自分の将来の姿を構想する。	33、34 不安を克服し、夢を求めて自分の道を歩んでいく意志をもつ。 35 将来の生き方についての意志を固める。	33、34 みんなが不安を感じていることを知る。 35 これまでに学んだことを総動員して考える。

「注3」白抜き反転数字の番号は、10頁の表の番号に同じ。題材名の前の番号とも一致し、どの題材でどの能力がかかわっているかを示している。

「注4」グレーの網掛けは、適応にかかわる要素が強い題材グループ。